

旭山動物園は、日本最北の動物園として昭和42年に開園しました。市民の憩いの場として親しまれましたが、昭和58年をピークに入園者数が激減しました。しかし、職員のアイデアと根強い動物園ファンの市民に支えられ、再生を果たしました。

動物園の再生に向けて、どうしたら動物たちの魅力を伝えられるか。スタッフがアイデアを出し合い議論しました。その結果、動物たちが暮らしていた環境により近い状況を再現することで、本来持っている能力を発揮させ、生き生きとした姿を伝えられることに成功しました。生命の躍動感が伝わるように、動物中心に工夫したこの展示方法を「行動展示」と名付けて施設整備を始めました。平成8年、親子がヤギやウサギと直接触れあえる「こども牧場」の建設に始まり、巨大な鳥かごを作り人間が中に入って鳥たちを観察する「ととりの村」、「もうじゅう館」「さる山」「ペンギン館」など既存概念に捕らわれない独創的な施設整備を行いました。円柱水槽を上下に

自由に泳ぐアザラシ、まるで空を飛んでいるかのように水中トンネルのまわりを泳ぐペンギンなど、動物本来の姿が見られると大好評です。

職員自らの手作り看板や担当飼育スタッフによる「ワンポイントガイド」、動物たちのエサの時間「もぐもぐタイム」などの取り組みも施設の魅力向上に貢献しています。また、学校への出張授業や体験学習などを通じて、子供たちへ「生命」の大切さを伝える活動も行っています。



おらんうーたん館



ペンギン館



あざらし館

- ①北海道旭川市東旭川町倉沼
- ②・JR函館本線旭川駅からバスで約40分
・道央自動車道旭川北ICから車で約20分
・旭川空港からタクシーで約20分
- ③北海道伝統美術工芸村、三浦綾子記念文学館、あさひかわラーメン村、旭川市科学館サイバル
- ④もぐもぐタイム、ワンポイントガイド、手づくり看板、動物園裏側探検
- ⑤NPO法人旭山動物園くらぶによる広報活動
読み聞かせの会による絵本の読み聞かせ活動
- ⑥旭川市 商工観光部 旭山動物園
電話番号 0166-36-1104
<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/asahiyamazoo/index.html>

